

PARIS (パリ) (2008)

PARIS

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ ロマンズ

製作国 フランス

色彩 Color

時間 129分

初公開日 2008/12/20

公開情報 アルシネテラン

【キャッチコピー】

この街が
教えてくれる、
一番大切なこと。

【解説】

「スパニッシュ・アパートメント」「ロシアン・ドールズ」のセドリック・クラピッシュ監督が、故郷パリに戻って撮り上げた切なくも心温まる群像ドラマ。様々な顔を持ち合わせるパリの街を背景に、そこに暮らす男女の悲喜こもごもの人生模様が優しい眼差しで切り取られていく。出演はジュリエット・ビノシュ、ロマン・デュリス、ファブリス・ルキーニ。

心臓病を患い、余命わずかと宣告されたムーラン・ルージュの元ダンサー、ピエール。心臓移植にかすかな望みを託しつつ、ドナーが現われるのを待つアテのない日々。自宅のアパートマンからパリの街を眺めては行交う人々の人生に思いを馳せることで、沈みがちな気持ちを紛らわせていた。そんなピエールを案じて姉のエリーズが同居を始める。3人の子どもを女手一つで育てている彼女は、もう若くないからと自分の人生を諦めていたが…。一方、歴史学者のロランは自分の講義を受ける学生レティシアに年甲斐もなく惚れてしまい…。彼の弟で建築家のフィリップ、離婚後も同じマルシェで働くジャンとカロリーヌ、兄を頼りに不法入国を図るカメルーンのブノワ、そして華やかなファッション業界で働くマルジョレーヌ、誰もがパリの空の下、小さな不満や問題を抱えながら日々を送っていたが…。

【クレジット】

監督	セドリック・クラピッシュ	Cedric Klapisch	
製作	ブリュノ・レヴィ	Bruno Levy	
脚本	セドリック・クラピッシュ	Cedric Klapisch	
撮影	クリストフ・ボーカルヌ	Christophe Beaucarne	
美術	マリー・シェミナル	Marie Cheminal	
衣装	アン・ショット	Anne Schotte	
編集	フランシーヌ・サンベール	Francine Sandberg	
音楽	ロイク・デュリー	Loïc Dury	
出演	ジュリエット・ビノシュ	Juliette Binoche	エリーズ
	ロマン・デュリス	Romain Duris	ピエール
	ファブリス・ルキーニ	Fabrice Luchini	ロラン・ヴェルヌイユ
	アルベール・デュポンテル	Albert Dupontel	ジャン
	フランソワ・クリュゼ	Francois Cluzet	フィリップ・ヴェルヌイユ
	カリン・ヴィアール	Karin Viard	パン屋
	ジル・ルルーシュ	Gilles Lellouche	フランキー

オリヴィア・ボナミー
メラニー・ロラン
オドレ・マルネ
ジュリー・フェリエ

Olivia Bonamy
Melanie Laurent
Audrey Marnay
Julie Ferrier

ディアン
レティシア
マルジョレーヌ